

## IBM Algo Risk Service on Cloud

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

### 1. クラウド・サービス

「IBM Algo Risk Service on Cloud」は、ポートフォリオ構築、リスク管理およびレポート作成のためのソリューションを提供する、ウェブベースのホスト型マネージド・サービスです。

「IBM Algo Risk Service Base Service on Cloud」は、Web ベースの金融リスク測定と管理サービスで構成される「基本機能」を提供します。「IBM Algo Risk Service Base Service on Cloud」は、基本的なリスク測度を夜間のバッチ処理によって計算し、計算結果を Web ポータルのインターフェースで提供します。このインターフェースでは、リスクの分析的な結果の操作および分析を実行できます。計算された特定のリスク測度の詳細な説明については、下記の IBM Risk Service on Cloud – Risk Analytics Details 資料を参照してください。

#### a. データ要件

「IBM Algo Risk Service on Cloud」は、お客様が提供するポジションおよびその他の関連データと、市場データ、ベンチマーク・データ、およびその他の供給源から得たデータまたはそのいずれかを結合し、特定のリスク測度の計算を実行します。お客様のデータが適切に処理されるよう支援するために、お客様は、必要な製品データ、財務データおよびその他のデータを、「Algo Risk Service インプット・ファイル・ガイド」に規定する方法および形式で、IBM に提供するものとします。選択可能な「クラウド・サービス」の一部のオプションでは、1つ以上の第三者データ・ベンダーによって提供されたデータの処理が必要となります。お客様がこれらのオプションのいずれかをサブスクライブしている場合、お客様はこれらのオプションに必要なデータに関連し、かつ「クラウド・サービス」オフリングのアウトプットにも適用される、本「サービス記述書」の「別紙 A」および「別紙 B」の該当部分の契約条件に同意するものとします。より明確にするために記載しますが、お客様が第三者データ・プロバイダーを参照するデータ処理オプションのいずれもサブスクライブしていない場合、かかる条件はお客様には適用されません。一部のデータ・ベンダーは、お客様によるそのデータ使用に関する情報の提供を IBM に要求し、お客様は IBM が本情報を当該ベンダーに提供できること (ただし、「クラウド・サービス」を利用可能にする目的に限り) に同意するものとします。お客様に「クラウド・サービス」を提供するために必要とされる第三者データに対する IBM のアクセスが何らかの理由により制限される場合、いずれの当事者も本「サービス記述書」を終了することができ、IBM が終了する場合には、IBM は、お客様が支払い、終了日時点でいまだ消費されていない料金の差額をお客様に払い戻します。

#### b. 文書

一連の文書により、IBM Algo Risk Service on Cloud に関するさまざまなフィーチャーおよびプロセスが定義されています。この資料は、入力ファイル形式、リスク分析方法論、資産クラスおよびリスク要因の範囲、ならびにセキュリティーとプライバシーに関する概要を取り上げています。これらの資料の一覧は以下のとおりです。

- IBM Algo Risk Service on Cloud – Market Data Guide
- IBM Algo Risk Service on Cloud – Instrument Model Specifications
- IBM Algo Risk Service on Cloud – Data Coverage Guide
- IBM Algo Risk Service on Cloud – Risk Analytics Guide
- IBM Algo Risk Service on Cloud – Input File Guide
- IBM Algo Risk Service on Cloud – ARA User Guide
- IBM Algo Risk Service on Cloud – ARA Output Glossary
- IBM Algo Risk Service on Cloud – RSoC Infrastructure Overview

c. お客様の入力データ

お客様は、IBM が提供する、お客様固有のセキュア・ファイル転送プロトコル (SFTP) サイトに、3 つのデータ・ファイルを送信するものとします。

- (1) ポジション・ファイル
- (2) 店頭取引 (OTC) の T&C (条件) データ・ファイル
- (3) 「ポートフォリオ階層」ファイル

「Algo Risk Service on Cloud インプット・ファイル・ガイド」では、入力データ・ファイル形式が指定されています。この資料にはお客様が提供する市場データ、およびベンチマーク・データ形式が含まれています。

d. 財務リスク管理の留意事項

「クラウド・サービス」オフリングは、複雑な財務リスク管理計算を実施するように設計されており、通常、規制対象の金融業界で活動するお客様により使用されます。「クラウド・サービス」によるアウトプットはお客様が遵守義務を果たす上で役に立ちますが、「クラウド・サービス」オフリングの利用はいかなる法規、規格または慣行の遵守も保証するものではありません。「クラウド・サービス」オフリングによるアウトプットの正確性は、お客様が利用に供するコンテンツが正確であることをその条件とし、お客様は、かかるコンテンツ、ならびに、「クラウド・サービス」のアウトプットの使用、およびこれにより取得した結果に対して責任を負うものとします。さらに、「クラウド・サービス」はお客様を支援するツールであり、第三者に助言を行う場合や、投資その他の事業およびリスク管理について決定を下す場合に、お客様の経営陣および従業員のスキル、判断、および経験の代わりをするものではないことを、お客様は了承します。お客様は、「クラウド・サービス」の利用による結果の責任を負うものとします。

e. 監査

IBM は、(a) サブスクリプション期間中、年 1 回を限度として、お客様の要求に応じて、お客様の費用負担で、お客様の内外の監査人または調査員に、「クラウド・サービス」オフリングに対するアクセスを認め、(b) お客様の規制上の要件を満たすため必要な場合には、要求および合理的な事前の通知 (可能な場合) により、お客様の費用負担で、お客様またはお客様の内外の監査人もしくは調査員に対して、「クラウド・サービス」に関連する IBM の記録のコピーを閲覧に供し、(c) 2002 年の米国サーベンス・オクスリー法 (および同法に起因する、同法と同様の、または同法の後継の法律、規則または指針) を遵守するためにお客様が要求することのある、「クラウド・サービス」オフリングに関する情報について、お客様の費用負担でお客様の合理的な要求に従います。すべての場合において、お客様およびお客様の監査人または調査員は、上述の活動の一部として開示または提供される情報を保護する IBM の標準的な機密保持契約を締結する必要があります。

- f. 本「第 1 条」で使用される場合、「金融商品」とは、2 つまたはそれ以上の企業間の各個別契約または各個別取引のうち、次の物に限定されないもののそれらを含む金融資産または有形資産の交換を定義する正味の所有をいいます。(a) 一意の証券識別コード (例: CUSIP、SEDOL、ISIN) で識別可能な流通証券、(b) 商業銀行の商品 (コーポレート・バンキング、SME バンキングおよびリテール・バンキングを含みます。)、(c) OTC または上場デリバティブ (ISDA 定義またはカスタマイズ契約で定義されているか否かは関係ありません。)、(d) 買い戻し契約および貸付有価証券、ならびに (e) 商品またはその他の有形資産。

「IBM Algo Risk Service Standard Processing on Cloud」は、Risk Service on Cloud を定義するシミュレーションを実行するのに必要なワークフローおよびバッチ処理を提供します。このシミュレーションの範囲は、リスク分析が必要な固有の証券 (文書) の数で定義されます。固有の分析、シナリオ、およびその他の出力は、IBM Algo Risk Service on Cloud – Risk Analytics Details 資料で定義されています。「IBM Algo Risk Service Standard Processing on Cloud」は、1 か月あたりに処理された「金融商品」(文書としてカウントされます。)の最大数に基づいてティアごとに課金されます。

この「クラウド・サービス」では、以下の幅広いオプションとともに、日次、週次、または月次単位の処理スケジュールを利用できます。

## 1.1 オプション機能

### 1.1.1 IBM Algo Risk Service Optimizer on Cloud

「Algo Risk Service Optimizer on Cloud」は、適切な有価証券と適切な資産配分を選択して特定のリスク・アンド・リターン目標の達成を支援する、数値ソルバーです。このプロセスでは、取引のコスト、資産配分と資産集中のリミット、およびリスク・バジェットといった実際の制約を考慮することができるため、一連の最適化問題の構造化とモデル化を実現することもできます。

IBM Algo Risk Service Optimizer on Cloud により、お客様は以下を実行できます。

- a. 加法的測度または加重加法的測度 (価格、リターン、ベータ、デュレーションなど) に関して、絶対目標値の達成
- b. ポートフォリオとベンチマークの間の加法的測度または加重加法的測度 (価格、リターン、ベータ、デュレーションなど) のマッチング
- c. ポートフォリオの期待値またはリターンの最大化
- d. 任意の信頼区間におけるポートフォリオの期待ショートフォール (推定テール・ロス) の最小化
- e. 任意の信頼区間におけるベンチマークに対するポートフォリオのアンダーパフォーマンス (レフト・テールにおける損益計算書 (P&L) の差) の最小化
- f. 絶対的基準に基づくポートフォリオの分散の最小化
- g. ポートフォリオとベンチマークの間のトラッキング・エラーの最小化

### 1.1.2 IBM Algo Risk Service Counterparty Credit Exposure on Cloud

「IBM Algo Risk Service Counterparty Credit Exposure on Cloud」は、取引先企業の信用リスクのモニタリング、測定、および管理を可能にし、ポートフォリオ構成の変更が市場リスクおよび信用リスクの両方に与える影響に関する可視性を提供します。

「クラウド・サービス」は以下を行います。

- a. 市場リスクおよび信用リスクに対する表示画面を同じアプリケーション内で提供します。これには、ポートフォリオ構成を変更する場合の「what-if」分析へのアクセスのほか、市場リスクおよび信用リスクの両方に及ぶ影響を表示する機能が含まれます。
- b. 証拠金の閾値およびネット・ピーク・エクスポージャーなど、一連の新規出力属性を導入します。
- c. 以下を含む、重要な信用エクスポージャーの問題の特定および対処について、お客様を支援します。
  - (1) 大きなエクスポージャーが、企業内、取引先企業のどこに存在するかを地域およびファンドごとに特定し、翌営業日までの変更がそれらのエクスポージャーに対してどのように影響するかを特定
  - (2) 信用リスクに起因する潜在的な損失がどれくらい大規模かを判定
  - (3) 信用リスクの軽減手法の有効性評価および取引先企業と取引するための追加融資の有無の評価
  - (4) 信用リスク・リミットのモニタリングと設定、ならびにエクスポージャー・プロファイルに関する時系列および異なる期間のレポート作成
  - (5) 信用リスクに対する特定のストレス・テストの影響を表示
  - (6) 信用リスクの結果に対する影響を表示するために、その場でネットティング契約を変更するなどの、「what-if」分析の支援

### 1.1.3 IBM Algo Risk Service Intra-Day Processing on Cloud

「IBM Algo Risk Service Intra-Day Processing on Cloud」では、標準的な夜間の「Algo Risk Service」バッチ・プロセスよりも短い所定の間隔 (例えば、1 時間単位) でポートフォリオの更新、ポジション・データ、および「Algo Risk Service on Cloud」が計算するリスク分析を要求することができます。「IBM Algo Risk Service Intra-Day」による処理は、「サービス詳細文書」で概説されているとおり、1,000 の「金融商品」および一連の標準シナリオの使用に制限されています。日中処理の依頼は、「IBM Algo Risk Service」サポート・ポータルを介して行います。

#### 1.1.4 IBM Algo Risk Service Data Archive on Cloud

「IBM Algo Risk Service Data Archive on Cloud」は、あらかじめ同意した「金融商品」およびシナリオの数に基づいて計算される出力データの、標準的なストレージ・アロケーションを行います。「IBM Algo Risk Service Data Archive on Cloud」は、以下のスケジュールで、従前のバッチ・セッションの標準的なストレージをお客様に提供します。

- 今週 1 週間分に対する毎日のセッション
- 今月 1 か月間分に対する毎週のセッション
- 前月の最終営業日からの毎月のセッション

「IBM Algo Risk Service Data Archive on Cloud」には、「IBM Algo Risk Service on Cloud」が長期間作成した出力データを保存するオプションを提供し、ギガバイト単位で販売されます。

#### 1.1.5 IBM Algo Risk Service Risk & Financial Engineering Workbench on Cloud

IBM Algo Risk Service Risk & Financial Engineering Workbench on Cloud により、お客様はお客様のマシン上に IBM Algo One Risk & Financial Engineering Workbench (RFEWB) イネーブリング・ソフトウェアをインストールできます。

お客様は、RFEWB を「クラウド・サービス」オフアリングのセッション・データ出力と組み合わせて使用することができます。これには、契約条件データ、プライシング関数、および市場データにマップされた、お客様が提出した「金融商品」のデータ・セット (以下「クライアント・セッション・データ」といいます。) が含まれています。

お客様が RFEWB を使用して「クライアント・セッション・データ」に対して行うことができる操作は以下のとおりです。

- a. 「クライアント・セッション・データ」に関連する主な要因の検索。
- b. 「what-if」分析のサポート。
- c. ストレス分析のサポート。
- d. 「クラウド・サービス」オフアリング・サポート・ポータルによるエラーの迅速な検出および必要に応じた修正または変更の要求。
- e. リスク分析結果から得た主な知見に関するセッションへの注釈付け。

RFEWB は、「クラウド・サービス」オフアリングのサブスクリプション期間中に限り使用することができます。

#### 1.1.6 IBM Algo Risk Service Interactive Users on Cloud

IBM Algo Risk Service Interactive Users on Cloud では、お客様が必要に応じて、Web ポータル・ユーザーを追加できます。

#### 1.1.7 IBM Algo Risk Service ARA Enabling Software

「IBM Algo Risk Service ARA Enabling Software」により、お客様は、標準の Algo Risk Service on Cloud Web ポータルを使用する代わりに、自社のマシン上に Algo Risk Aggregator (ARA) イネーブリング・ソフトウェアをインストールできます。

Algo Risk Aggregator は、「クラウド・サービス」オフアリングのサブスクリプション期間中に限り使用することができます。

#### 1.1.8 IBM Algo Risk Service Axioma Equity Models

「IBM Algo Risk Service Axioma Equity Models」には、3つのエディションがあります。

- a. Entry Edition – 運用株主資本額が 150 億米ドル未満。
- b. Standard Edition – 運用株主資本額が 150 億米ドルから 450 億米ドルまで。
- c. Enterprise Edition – 運用株主資本額が 450 億米ドル超。

株式モデルは、Axioma から供給されます。お客様は、ファクター・モデルのほか、マルチアセット・クラスのポートフォリオ・リスク評価システムにアクセスすることができます。お客様は、ポートフォリオ構築の意思決定、ならびにポートフォリオ・レベルおよび部門レベルのエクスポートに関するシナリオ分析によるパフォーマンス測定に、ファクター・モデルを利用できます。

### 1.1.9 IBM Algo Risk Service Risk Data

「IBM Algo Risk Service Risk Data」は、IBM のリスク分析プロセスで要求される市場データを取得、処理、検証、および提供するサービスで、その詳細な説明は以下の3つの資料に記載されています。

- IBM Algo Risk Service on Cloud – Market Data Guide
- IBM Algo Risk Service on Cloud – Instrument Model Specifications
- IBM Algo Risk Service on Cloud – Data Coverage Guide

このサービスでは、Risk Service on Cloud で定められた分析を実行するのに必要なデータ (個々のセキュリティ詳細および基礎となる要因データの両方) を提供します。このデータに対して課金される料金は、1日あたりに処理される「金融商品」数の月平均に基づいています。

### 1.1.10 IBM Algo Risk Service Point in Time Processing on Cloud

「IBM Algo Risk Service Point in Time Processing on Cloud」は、Algo Risk Service on Cloud の拡張機能で、過去の日付 (過去の月末または四半期末など) を対象に、遡及的な処理に対応します。この拡張機能は、集約対象のポジションおよび OTC トランザクション・データを、「インプット・ファイル・ガイド」に規定されたとおりの形式でお客様に用意していただく必要があります。

## 2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件 (お客様の責任を含みます。) がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります (現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=B2301360C23111E6A98AAE81A233E762>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合 (「コンテンツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。) には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR) が「コンテンツ」に含まれる個人データに適用される場合に、その適用範囲に限り、<http://ibm.com/dpa> にある IBM の「データ処理補足契約書」(DPA) および「DPA 別表」が適用され、本契約の一部として参照されます。本「クラウド・サービス」に適用可能な「データ・シート」は「DPA 別表」の位置づけです。DPA が適用される場合、「復処理者」の変更の通知を提供する IBM の義務およびかかる変更に関する異議を申し立てるお客様の権利は、DPA に規定されるとおりに適用されます。

## 3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) を提供します。「SLA」は保証ではありません。

「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

### 3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」が利用できず、業務に重大な影響が及んだことを最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して「重要度 1」のサポート・チケットを記録するものとします。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援するものとします。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出するものとします。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間(以下「ダウンタイム」といいます。)に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 12 分の 1 の 10% を超えないものとします。

バンドルされた「クラウド・サービス」の場合(個別の「クラウド・サービス」オフリングをパッケージ化し、単一オフリングとして、単一の合算料金で販売しているもの)、補償は、バンドルされた「クラウド・サービス」に対する 1 つにまとめられた月額料金に基づいて計算されるものであり、各個別「クラウド・サービス」に対する月額サブスクリプション料金に基づいて計算されるものではありません。お客様は、1 つの個別「クラウド・サービス」に関する請求のみ、一度にまとめて提出することができます。

### 3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	補償 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」*の割合)
99.5% 未満	2%
99% 未満	5%
95% 未満	10%

\*「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

## 4. テクニカル・サポート

Client Success Portal (<https://support.ibmcloud.com>) を介して「クラウド・サービス」に対するテクニカル・サポートを利用することができます。IBM の IBM Software as a service support guide ([https://www-01.ibm.com/software/support/saas\\_support\\_guide.html](https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html)) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

## 5. エンタイトルメントおよび課金情報

### 5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. **「許可ユーザー」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接のいかなる方法においても(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを通じて)「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントをいずれかの手段により取得しなければならないものとします。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. **「文書」**は、「IBM クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「文書」とは、その先頭と末尾を示す文書のヘッダー・レコードとトレーラー・レコードで囲まれた有限量のデータ、または物理的文書を電子表示したものです。お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM クラウド・サービス」が処理する「文書」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- c. **「エンゲージメント」**は、サービスを取得する際の課金単位です。「エンゲージメント」は、「クラウド・サービス」に関連するプロフェッショナル・サービス、研修サービスまたはその両方のサービスで構成されます。それぞれの「エンゲージメント」をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- d. **「ギガバイト月」**は、「IBM クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「ギガバイト」は、2の30乗バイトです。お客様は、お客様の「証書 (PoE)」または「取引文書」に定める課金期間中の各月において「IBM クラウド・サービス」で使用され、保管され、または構成された「ギガバイト」の平均数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- e. **「インスタンス」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- f. **「レガシー ARA ユーザー」、「レガシー同時接続ユーザー」、「レガシー GUI ユーザー」、および「レガシー契約」**は、「クラウド・サービス」の利用資格を得る際の課金単位です。レガシー課金単位タイプについては、IBM は、もはや積極的な販売活動を行っておりません。ただし、IBM は、その独自の裁量において、「レガシー」エンタイトルメントのタイプに基づいて、特定のバージョンの「クラウド・サービス」オファリング(以下「レガシー SaaS」といいます。)を利用するための、お客様の既存のエンタイトルメントの範囲を拡大させることに同意する場合があります。「レガシー」課金単位タイプに基づき取得された「クラウド・サービス」オファリングは、「取引文書」の「クラウド・サービス」オファリング名の中に「レガシー」と表記されます。お客様による「レガシー SaaS」全体の利用には、お客様が「レガシー SaaS」を利用する資格を最初に取得した際に適用された契約(以下「レガシー契約」といいます。)に定める課金単位条件が適用されます。いかなる場合も、「レガシー契約」の条件は、お客様の「レガシー SaaS」を利用する権利が「取引文書」に定める金額を超過して拡大すると解釈されることはなく、また、指定された「レガシー SaaS」の課金単位条件以外の条件が、当該「クラウド・サービス」オファリングの利用に適用されるとみなされることもありません。
- g. **「要求」**は、「IBM クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「要求」とは、IBM がサービスの実行を許可したお客様による行為をいいます。サービスによって、「要求」は、書面による通知や、電話、電子メールまたはオンラインによるサポート要求の形式を取ることがあります。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「IBM クラウド・サービス」に提出される「要求」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。



## 5.2 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントを超える場合には、かかる超過が生じた月の翌月に、「取引文書」に記載された料金で超過料金が請求されます。

## 5.3 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

## 5.4 検証

お客様は、i) IBM およびその独立監査人がお客様の本契約の遵守状況を検証するために合理的に必要となる記録、システム・ツールからの出力を保持し、要求に応じて提供し、ならびに ii) かかる検証の結果必要と判断されたエンタイトルメントを、IBM のその時点で最新の料金ですみやかに注文して支払うほか、その他の料金および債務を、IBM の請求書の記載に従い支払うものとします。これらの遵守状況検証義務は、該当する「クラウド・サービス」の有効期間中、およびその後の2年間有効に存続します。

## 6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合には、「クラウド・サービス」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

## 7. 追加条件

### 7.1 共通事項

お客様は、IBM が広報活動またはマーケティングのコミュニケーションにおいて、お客様を「クラウド・サービス」の利用者として公に言及できることに同意します。

お客様は、次のような危険性の高い活動をサポートするものとして、「クラウド・サービス」を単独で、または他のサービスや製品と組み合わせて使用してはなりません。核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機航行もしくは通信の設計、建築、管理、または保守。あるいは「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こす可能性があるその他のあらゆる活動。

### 7.2 イネープリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」を使用するには、お客様がご自身のシステムにイネープリング・ソフトウェアをダウンロードする必要があります。イネープリング・ソフトウェアにより、「クラウド・サービス」の使用が促進されます。お客様は、「クラウド・サービス」の利用に関連してのみ、イネープリング・ソフトウェアを使用することができます。イネープリング・ソフトウェアは、以下の条件で提供されます。

イネープリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
IBM Algo One Risk & Financial Engineering Workbench 5.1 (IBM Algo Risk Service Risk & Financial Engineering Workbench on Cloud 用)	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1F0D7ABED574F04685257D8F007B192D">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/1F0D7ABED574F04685257D8F007B192D</a>
IBM Algo One Risk Aggregator 5.1 (IBM Algo Risk Service ARA Enabling Software 用)	<a href="http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/010569557F75AB3D85257FCB003D73A8">http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/displaylis/010569557F75AB3D85257FCB003D73A8</a>



## 7.3 Cookie

IBM Algo Risk Service on Cloud では、現在のユーザー・セッションのみで持続するメモリー内のセッション Cookie を使用します。メモリー内のセッション Cookie は、ユーザーがブラウザを閉じるか、ブラウザ・セッションの期限が切れると破棄されます。

## 7.4 複合的信用格付け

IBM Algo Risk Service の複合的信用格付けは、格付け機関の資金援助を受けたり、支持または促進されたりするものではありません。格付け機関が提供する格付けが IBM Algo Risk Service の複合的信用格付けの作成において入力データとして使用されることはありますが、IBM Algo Risk Service の複合的信用格付けは、格付け機関により、資金援助を受けたり、支持または促進されたりするものではありません。格付け機関は、IBM Algo Risk Service の複合的信用格付けを利用したこと、または入力データとして使用された格付けに関連する、直接的、間接的、付随的、懲罰的、補償的、特別、または派生的な損害、経費、費用、弁護士費用または損失 (過失に起因する逸失収益または逸失利益、および機会費用または損失を含みます。) について責任を負いません。IBM Algo Risk Service の複合的信用格付けが格付け機関の提供する格付けを使用して作成された場合は、かかる格付けは当該格付け機関のライセンスに基づいて使用されたもので、かかる格付けに関するすべての権利を留保します。

## 7.5 第三者の Web サイトまたはその他のサービスへのリンク

お客様が、「第三者」の Web サイト、または「クラウド・サービス」にリンクされた、もしくは「クラウド・サービス」からアクセス可能な他のサービスを伝送先または伝送元としてコンテンツを伝送する場合、お客様は、すべてのかかるコンテンツの伝送を行うことに対する同意を IBM に提供するものとなります。ただし、かかる伝送は、お客様および「第三者」の Web サイトまたは他のサービスの間でのみ行われます。IBM は、かかる第三者のサイト、サービス、またはデータに対していかなる保証または表明もせず、また、かかる第三者のサイト、サービス、またはデータの品質について一切責任を負いません。

## 7.6 許可される使用

お客様は、お客様のみによる使用のために、本「サービス記述書」の第 1 条に記載される「クラウド・サービス」文書のハードコピーを合理的な枚数分作成し、また、電子的コピーをイントラネットまたは社内の Web サイトに掲載する権限を有します。ただし、「クラウド・サービス」文書のコピーまたはその部分的コピーのすべてに、IBM の著作権表示を付すものとしします。

本「サービス記述書」に明示的に記載されている場合を除いて、お客様は、「クラウド・サービス」から受領する、または「クラウド・サービス」で閲覧するいかなるデータも複製、修正、および配布することはできず、リバースエンジニアリングを行うこともできません。

IBM は、(a) お客様による「クラウド・サービス」の利用に関する匿名のデータ、総計のデータおよび要約のデータを蓄積して分析し、(b) 報告書、研究論文、分析、およびこれらの蓄積および分析から生じるその他の作業の結果 (以下、総称して「蓄積データ」といいます。) を作成することができるものとしします。IBM は、「蓄積データ」に対するすべての権利を保持するものとしします。

IBM は、「クラウド・サービス」オフリングのテストおよびその品質の向上を限定された唯一の目的として、お客様のデータを「クラウド・サービス」環境内の非実稼働サーバーにコピーする場合があります。

## 7.7 統合、構成およびお客様のサービスの説明

Algo Risk Service on Cloud は、お客様ごとに設定されたカスタマイズ済みインスタンスを伴う管理対象サービス・オフリングです。お客様の専用インスタンス導入のサービス契約は、別途締結するサービス契約書に従って相互の合意が得られた作業指示書に基づき IBM によって実施されます。

## 7.8 IBM サプライヤーによって要求される条件

「クラウド・サービス」は、一部において第三者サプライヤーにより提供される資料に依存します。お客様は、当該サプライヤーにより IBM がお客様に受け渡す義務を負う条件を定めた「別紙 C」の条件に同意するものとしします。

## 別紙 A

本書は、「IBM サービス記述書」の「別紙 A」です。この「別紙 A」は、お客様が下記の「データ・ベンダー」のいずれかを参照する第三者データ処理オプションをサブスクライブしている場合に限り、適用されます。「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」および本「別紙 A」との間に相違が生じた場合は、相違する範囲で、本「別紙 A」の条件が優先するものとします。

### 1. データ・ベンダー

- a. IBM は、「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」、および本「別紙 A」の条件に従い、お客様に代わって、特定の第三者データ・ベンダー (以下、それぞれを「データ・ベンダー」といいます。) から、当該「データ・ベンダー」が提供する、「クラウド・サービス」オファリングの一部としてお客様が必要とする特定のデータ (以下「ベンダー・データ」といいます。) を直接取得し、それらを管理します。
- b. お客様は、お客様がそれぞれの当該「データ・ベンダー」との間で、契約 (以下「お客様とデータ・ベンダーの契約」といいます。) を直接締結しなければならないことを承知します。お客様は、「お客様とデータ・ベンダーの契約」および本「別紙 A」に含まれる利用条件が、「本契約」および「サービス記述書」、および「取引文書」の利用条件よりもさらに制限的な場合があることを了承し、お客様はまた、より制限的な利用条件が、「ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」を含むか「ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。) のお客様による利用に適用されることを承知します。お客様の「お客様とデータ・ベンダーの契約」が何らかの事由により終了または満了した場合、「ベンダー・データ」を処理する IBM の義務は、通知を要することなく自動的に終了するものとします。

### 2. 料金

「ベンダー・データ」につき「データ・ベンダー」から課される料金の増額を反映するために、IBM は、お客様に代わって行う「ベンダー・データ」の処理に関連する、「クラウド・サービス」オファリングの料金の当該部分を、随時、増額することができます。お客様は、かかる増額について責任を負うことに同意し、これを支払うものとします。

### 3. 補償

お客様は、いかなる方法であれ、次のいずれかに起因して生じたいかなる請求、損失、損害、債務、経費および費用 (合理的な弁護士費用を含みます。) についても、IBM、IBM に対する第三者のライセンス交付者、それぞれの関連会社 (それぞれの取締役、役員、従業員、および代理人を含みます。) を防御し、免責・補償することに同意します。(i) 「ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」または任意の「データ・ベンダー」の商標を含むか、そのいずれかから派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプット、もしくはかかる利用から生じた判断または助言を含みますが、これらに限定されません。) のお客様による利用、第三者による利用、もしくは利用できないこと、(ii) 本「別紙 A」、お客様の「顧客とデータ・ベンダーの契約」またはお客様が「データ・ベンダー」との間に締結したその他の契約に含まれる条件のお客様による違反、(iii) IBM と「データ・ベンダー」との間で締結された IBM の処理に関する代行契約 (以下「IBM 処理代行契約」といいます。) の IBM による違反であって、それがお客様による本「別紙 A」もしくはお客様が「データ・ベンダー」との間で締結した契約 (お客様の「顧客のベンダー・データ」に関する契約) を含みますが、これらに限定されません。) の条件違反に起因または関連する場合、(iv) お客様に代わって IBM が「ベンダー・データ」を使用した場合 (ただし、かかる「データ・ベンダー」との間に締結した「IBM 処理代行契約」を IBM が違反していないことを条件とします。)、(v) 「ベンダー・データ」(お客様が適用する「顧客とデータ・ベンダーの契約」の終了日以降、お客様がかかる「ベンダー・データ」を含むか、それから派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。) の使用または配布、(vi) お客様と IBM または「ベンダー・データ」に関係しない関連会社との間の取引 (ただし、かかる取引において、IBM が適用される「データ・ベンダー」を補償するよう求められている場合に限る)。

## 4. 免責事項

- a. お客様は、IBM が「ベンダー・データ」をお客様の利便性のために処理していること、ならびに IBM、IBM の第三者実施許諾者、およびそれらの関連会社のいずれもが、「ベンダー・データ」の遅延、不正確性、誤りもしくは「ベンダー・データ」からの遺漏についても、「ベンダー・データ」の品質、可用性もしくは利用についても、何らかの傷害もしくは損害についても、それにより結果的に生じたか否か、またはそれによって引き起こされたかにかかわらず、あるいは本「別紙 A」に関連するかにかかわらず、またはいかなる原因 (IBM の過失の有無を問いません。) に起因するかにかかわらず、いかなる責任 (偶発債務か否かを問いません。) も負わないことを、お客様は了承します。IBM による「ベンダー・データ」の処理は、各「データ・ベンダー」および複数の第三者からのデータおよび通信に依存しており、中断される場合があります。IBM は、「ベンダー・データ」を IBM が中断なく受信および処理することについてのいかなる保証も提供せず、かつ、そのような中断が生じた場合でも、お客様に対していかなる責任も負わないものとします。「ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」を含むか「ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。) は、お客様のために処理され、「現状」のままお客様に提供されます。IBM、IBM の第三者のライセンス交付者および「ベンダー・データ」の作成もしくは蓄積に関わるか関連しているその他の第三者、ならびにそれらのそれぞれの関連会社のいずれも、「ベンダー・データ」(またはその利用、その利用により得られる結果の利用、またはかかる利用から生じた判断もしくは助言) について、明示もしくは黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。IBM、IBM に対する第三者のライセンス交付者および「ベンダー・データ」の作成もしくは蓄積に関わるか関連しているその他の第三者は、権原、独創性、シーケンス、精度、正確性、完全性、性能、信頼性、適時性、第三者権利の不侵害、十分な品質、商品性の保証ならびに特定目的適合性の保証または使用に対する適合性の保証を含む (これらに限定されません。) いかなる黙示的保証も、明示的に否認します。
- b. 「ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」を含むか「ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプット、または「ベンダー・データ」の利用もしくはパフォーマンスから得られたその他の結果を含みますが、これらに限定されません。) のお客様による利用、利用の許可、またはこれを利用させることに関するすべてのリスクは、お客様が負うものとします。「本契約」、「サービス記述書」、「注文関連文書」または本「別紙 A」においてこれと異なる規定がある場合でも、IBM もしくはその関連会社、それらの第三者のライセンス交付者、または「ベンダー・データ」の作成もしくは蓄積に関わるか関連しているその他の第三者は、いずれも、「ベンダー・データ」に関するか、「ベンダー・データ」のお客様による利用もしくはこれを利用できないこと、またはその利用により得られる結果に関するか、「データ・ベンダー」から IBM に提供される「ベンダー・データ」の遅延、誤り、中断もしくはその不具合に関するか、または IBM による本「別紙 A」の履行もしくは不履行 (行為の形態を問いません。) に関して、不法行為 (過失または無過失責任を含みますが、これらに限定されません。)、契約、あるいは「本契約」、「ご利用条件」もしくは本「別紙 A」に基づき生じるあらゆる直接損害または間接損害 (使用機会の喪失、逸失利益、売上もしくは逸失収益、節約すべかりし費用、信用もしくは評判に対する損害または毀損、機会喪失もしくは無駄な支出、あるいはその他の経済的損失、特別損害、懲罰的損害またはその他の付随的損害もしくは拡大損害を含みますが、これらに限定されません。) について、お客様またはその他の第三者に対していかなる責任も負いません。このことは、IBM もしくはその関連会社、それらの第三者のライセンス交付者、または「ベンダー・データ」の作成もしくは蓄積に関わるか関連しているその他の第三者が、かかる損害の可能性について通知を受けていた場合、または予見し得た場合も同様とします。

## 5. 証明書

お客様は、IBM からの要求に応じて、権限を有するお客様の役員 1 名が署名し、本「別紙 A」に定めるお客様の義務および制限をお客様が遵守している旨を記載した、年次証明書を提出するものとします。

## 6. データ・ベンダーに固有のご利用条件

以下に明記する「データ・ベンダー」からの「ベンダー・データ」をお客様のために IBM が処理する場合に限り、次のご利用条件が適用されます。より明確にするために記載しますが、お客様が下記「データ・ベンダー」を参照するデータ処理オプションのいずれもサブスクライブしていない場合、かかる条件はお客様には適用されません。

## 6.1 Bloomberg

Bloomberg との間の「IBM 処理代行契約」に従い、「Bloomberg ベンダー・データ」(「Bloomberg ベンダー・データ」を含むか「Bloomberg ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)に対するアクセスおよび利用はすべて、次の条件に従います。

- a. お客様は以下を表明するものとします。
  - (1) お客様が、現在有効な「Bloomberg Bulk Data License Agreement」または「Bloomberg Per Security Data License Agreement」(以下「**Bloomberg 契約**」といいます。)を、適切なサブスクリプション・レベルで締結しており、かつ、これに基づく使用許諾料およびその他の弁済期日が到来している支払金額のすべてを支払っていること。
  - (2) お客様が、「Bloomberg ベンダー・データ」(「Bloomberg ベンダー・データ」を含むか「Bloomberg ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)に関する「Bloomberg 契約」に定めるすべての義務および制限を遵守すること。
- b. お客様は、「Bloomberg ベンダー・データ」が、Bloomberg L.P. およびその他の者の有価価値の知的財産および企業秘密を構成することを了承するものとします。本「別紙 A」のいかなる条項も、その旨が本書に明示的に記載されていない限り、Bloomberg の機密情報に関する何らかの権利、または Bloomberg の商標(トレード・マークおよびサービス・マーク)、特許、著作権、マスク・ワークもしくはその他の知的財産権に基づく何らかの権利を、使用権またはその他によって許諾または付与するものとは解釈されないものとします。お客様は、IBM もしくは Bloomberg またはそのサプライヤーが、これらの者およびその他の者の「Bloomberg ベンダー・データ」における契約上、制定法上およびコモンロー上の権利を保護するために行う、すべての合理的な要求に応じるものとします。お客様は、「Bloomberg ベンダー・データ」を、Bloomberg の機密として取り扱うものとします。
- c. Bloomberg は随時、その単独かつ独断的な裁量により、「Bloomberg ベンダー・データ」を更改、修正もしくは何らかの変更を行うか、または「Bloomberg ベンダー・データ」を受信および利用またはそのいずれかを実行するお客様の権利を終了することができるものとします。
- d. お客様の「Bloomberg 契約」で明示的に許可されない限り、お客様による「Bloomberg ベンダー・データ」(「Bloomberg ベンダー・データ」を含むか「Bloomberg ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)のいかなる再配布も、禁止されるものとします。
- e. お客様は、「Bloomberg ベンダー・データ」に起因または関連する訴訟を、その形態にかかわらず、訴訟原因の発生から 1 年を経過した後は提起することができないものとします。

## 6.2 STANDARD & POOR'S (S & P)

S & P との間の「IBM 処理代行契約」に従い、「S & P ベンダー・データ」(「S & P ベンダー・データ」を含むか「S & P ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)に対するアクセスおよび利用はすべて、次の条件に従います。

- a. お客様は以下を表明するものとします。
  - (1) お客様は、「S & P ベンダー・データ」の受信に関する法的拘束力のある個別契約書(以下「**S & P 契約**」といいます。)を S & P との間で締結しており、かつ、これに基づく使用許諾料金およびその他の弁済期日が到来している支払金額のすべてを支払っていること。
  - (2) お客様が、「S & P ベンダー・データ」(「S & P ベンダー・データ」を含むか「S & P ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)に関する「S & P 契約」に定めるすべての義務および制限を遵守すること。
  - (3) お客様の「S & P 契約」が何らかの事由により終了した場合、お客様は、IBM に対して速やかに書面で通知すること。

- b. お客様は、「S & P」データにおけるすべての知的財産権（著作権、データベース権および商標権を含みますが、これらに限定されません。）は、その中に含まれているすべてのデータ、ソフトウェア、製品および文書も含めて、現在も今後も、S & P、その関連会社およびそれらの第三者のライセンス交付者の独占的な財産であることを、了承するものとします。お客様は、当事者として訴訟に参加する場合を除き、IBM または S & P が、「S & P ベンダー・データ」における S & P もしくはその関係会社または第三者の権利を完全に履行および保護するために行う、すべての合理的な要求に、応じるものとします。お客様は、不法な侵害から S & P の知的財産権を保護する措置を実施するために、IBM および S & P に協力するものとします。
- c. お客様の「S & P 契約」で明示的に許可されない限り、お客様は、「S & P ベンダー・データ」（「S & P ベンダー・データ」を含むか「S & P ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフラインからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。）を、オンラインでの端末画面表示および限定的な問い合わせアクセスの目的に限って利用するものとします。
- d. お客様は、「S & P ベンダー・データ」に含まれているか、および/またはその一部であるコンテンツ、著作権表示もしくは免責事項の表示を変更、修正、削除、ブロックせず、または不明瞭にしないものとします。
- e. お客様の違反により IBM が「S & P ベンダー・データ」の処理を終了する場合、お客様は、「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」および本「別紙 A」に定めるか、その他コモンローまたは衡平法上 IBM が得られる救済に加えて、サブスクリプション期間の残期間につき支払われるべき「S & P ベンダー・データ」に関する料金を、速やかに支払うものとします。かかる料金は、当該終了の発効日の 1 日前に弁済期が到来するものとします。上記は「S & P ベンダー・データ」に関する IBM の損失について現実的な見積額を表すものであって、違約金を意図するものでないことに、お客様は同意するものとします。

### 6.3 ロンドン証券取引所、SEDOL のデータ

ロンドン証券取引所（以下「LSE」といいます。）との間の「IBM 処理代行契約」に従い、「LSE ベンダー・データ」（「LSE ベンダー・データ」を含むか「LSE ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」からのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。）に対するアクセスおよび利用はすべて、次の条件に従います。

- a. お客様が、「クラウド・サービス」に関連して SEDOL コードを使用することを希望する場合は、お客様はまず、その使用を許可する別途契約を LSE と締結する必要があります。
- b. お客様は、LSE の事前の書面による同意なしに、SEDOL コードを複製、抽出、および再配布することはできません。

## サービス記述書

### 別紙 B

本書は、「IBM サービス記述書」の「別紙 B」です。この「別紙 B」は、お客様が下記の「データ・ベンダー」のいずれかを参照する第三者データ処理オプションをサブスクライブしている場合に限り、適用されます。「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」および本「別紙 B」との間に相違が生じた場合は、相違する範囲で、本「別紙 B」の条件が優先するものとします。

#### 1. 直接データ・ベンダー

- a. IBM は、「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」、および本「別紙 B」の条件に従い、お客様に代わって、特定の第三者データ・ベンダー (以下、それぞれを「データ・ベンダー」といいます。) から、当該「データ・ベンダー」が提供する、「クラウド・サービス」オファリングの一部としてお客様が必要とする特定のデータ (以下「ベンダー・データ」といいます。) を直接取得し、それらを管理します。
- b. 本「別紙 B」が対象とする「データ・ベンダー」については、お客様は、当該「データ・ベンダー」と直接、契約を締結する必要はありません。お客様は、「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」、および本「別紙 B」の条件に従って、いかなる形態であっても「クラウド・サービス」オファリングの一部としてのみ「ベンダー・データ」を利用することに同意するものとします。
- c. 本「別紙 B」の第 4 条に含まれる利用条件は、「本契約」、「サービス記述書」、および「取引文書」に定める「クラウド・サービス」オファリングの利用条件よりもさらに制限的な場合があることを、お客様は認めるものとします。お客様はまた、より制限的な利用条件が、お客様による当該「ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」を含むか「ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプットを含みますが、これに限定されません。) の利用に適用されることを認めるものとします。

#### 2. 料金

「ベンダー・データ」につき「データ・ベンダー」から課される料金の増額を反映するために、IBM は、お客様に代わって行う「ベンダー・データ」の処理に関連する、「クラウド・サービス」オファリングの料金の当該部分を、随時、増額することができます。お客様は、かかる増額について責任を負うことに同意し、これを支払うものとします。

#### 3. 補償

以下のいずれかの状況に起因する請求、損失、損害、責任、費用、妥当な弁護士料および費用を含む経費の一切につき、発生時点で、お客様は、IBM およびその第三者情報提供者、およびその関連会社の役員、取締役、従業員、代理人、継承人、および譲受人を防御し、補償・免責することに同意するものとします。(i) 「ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」を含むか「ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オファリングからのアウトプットを含みますが、これに限定されません。) のお客様による利用もしくは第三者による利用、もしくはこれを利用できないこと、もしくはかかる利用から生じた判断もしくは助言、(ii) 「別紙 B」に定める条件のお客様による違反、(iii) 本「別紙 B」の条件のお客様による違反から生じる、もしくはこれに関連して生じる場合に限り、IBM の契約の IBM による違反。

#### 4. 直接データ・ベンダーに固有のご利用条件

以下に記載する「データ・ベンダー」から、「ベンダー・データ」をお客様のために IBM が処理する場合には、次のご利用条件が適用されます。より明確にするために記載しますが、お客様が下記「データ・ベンダー」を参照するデータ処理オプションのいずれもサブスクライブしていない場合、かかる条件はお客様には適用されません。



## 4.1 Axioma

IBM の「Axioma Distribution Agreement」に従い、「Axioma ベンダー・データ」(「Axioma ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)に対するアクセスおよび利用はすべて、次の条件に従います。

- a. お客様は、「Axioma ベンダー・データ」(「Axioma ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)を、お客様およびお客様の関連会社の社内業務で直接利用するために利用するものとし、「クラウド・サービス」オフアリングを提供するため、またはお客様およびお客様の関連会社の顧客、依頼人ならびに投資家による「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットの利用のために、利用してはならないものとします。
- b. お客様は、「Axioma ベンダー・データ」(「Axioma ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)を無断コピーまたは無断使用から保護するためにすべての合理的な措置を講じるものとし、ならびに「Axioma ベンダー・データ」の無断使用の存在を知り得た場合もしくはこれが疑われるか、またはセキュリティ違反が疑われる場合には、IBM に対して速やかに書面で通知し、かつ、かかる違反の救済において合理的な支援を提供することに同意するものとします。
- c. お客様は、Axioma が、「Axioma ベンダー・データ」、関連 Axioma 文書ならびにそれに関連するすべての商標(トレード・マークとサービス・マーク)および著作権の提供者であり、その唯一かつ独占的な権利者であることを了承するものとします。お客様は、「Axioma ベンダー・データ」が、Axioma の有価値の知的財産および企業秘密を構成することを、了承するものとします。お客様は、IBM または Axioma が、「Axioma ベンダー・データ」における Axioma の契約上、制定法上およびコモンロー上の権利を保護するために行う、すべての合理的な要求に応じるものとします。
- d. お客様は、「Axioma ベンダー・データ」(「Axioma ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」からのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)およびお客様に提供される関連 Axioma 文書を、機密情報として取り扱うものとします。お客様は特に、(i) お客様が開示することを希望しない自己の類似の情報を利用する場合と同一の注意および配慮をもって、機密情報の開示を防ぐものとし、かつ(ii)「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」および本「別紙 B」に基づき許可された自らの活動を行う目的に限って機密情報を利用するものとします。
- e. お客様は、「クラウド・サービス」オフアリングを介して、もしくは「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットから「Axioma ベンダー・データ」を抽出、アクセスまたはリバース・エンジニアリングをしてはならず、または(ii)本「別紙 B」で明示的に許可されない限り、「Axioma ベンダー・データ」(「Axioma ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)を利用してはならないものとします。
- f. お客様は、IBM が「Axioma ベンダー・データ」を利便性のために処理していること、ならびに IBM、IBM に対する第三者の情報提供者またはそれらの関連会社のいずれもが、「Axioma ベンダー・データ」の品質または可用性について、いかなる責任(偶発債務か否かを問いません。)も負わないことを了承します。「Axioma ベンダー・データ」(「ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)は、お客様のために処理され、「現状」のままお客様に提供されます。IBM、IBM に対する第三者の情報提供者、およびそれぞれの関連会社のいずれも、「Axioma ベンダー・データ」(またはその利用、その利用により取得した結果の利用、またはかかる利用から生じた判断もしくは助言)について、明示と黙示を問わず、いかなる表明または保証も行いません。IBM および IBM に対する第三者の情報提供者は、権原に対する保証、独創性、精度、互換性、品質、性能、正確性、完全性、信頼性、適時性、第三者権利の不侵害の保証、商品性の保証ならびに特定目的および使用に対する適合性の保証を含む(これらに限定されません。)いかなる黙示的保証も、明示的に否認します。お客様は、Axioma およびその第三者の情報提供者それぞれ

が、本条項および本「別紙 B」に定めるその他の免責事項における第三受益者であること、または「Axioma ベンダー・データ」の提供における第三受益者であること、ならびに上記を主張する権利を有していることを了承するものとします。

- g. 「Axioma ベンダー・データ」(「Axioma ベンダー・データ」を含むか「Axioma ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプット、または「Axioma ベンダー・データ」の利用もしくはパフォーマンスから得られたその他の結果を含みますが、これらに限定されません。)のお客様による利用、利用の許可、またはこれを利用させることに関するすべてのリスクは、お客様が負うものとします。前記の条件を制限することなく、IBM、第三者の情報提供者またはその関連会社はいずれも、お客様に対して以下のいずれかに関するいかなる責任も負いません。(A)「Axioma ベンダー・データ」の不正確性、誤りもしくは遺漏(その原因を問いません。)、(B)あらゆる意見、提案、予測、判断もしくはその他の結論による結果またはそれに関係する事項、あるいはお客様もしくは第三者が決定した何らかの行為の過程(「Axioma ベンダー・データ」に基づくかを問いません。)、あるいは(C)上記(A)または(B)に起因するあらゆる損害(直接損害または間接損害を問いません)。前記の条件を制限することなく、および「本契約」、「ご利用条件」または本「別紙 B」においてこれと異なる規定がある場合でも、IBM、第三者の情報提供者またはそれらの関連会社はいずれも、「Axioma ベンダー・データ」、「Axioma ベンダー・データ」のお客様による利用もしくはこれを利用できないこと、または「Axioma ベンダー・データ」の利用の結果に関するか、Axioma から IBM に提供される「Axioma ベンダー・データ」の遅延もしくは不履行に関するか、または IBM による本「別紙 B」の履行もしくは不履行(行為の形態を問いません。)に関して、「本契約」、「ご利用条件」もしくは本「別紙 B」に基づき生じるあらゆる直接損害または間接損害(逸失利益、事業の中断、企業情報の喪失、節約すべかりし費用、特別損害、懲罰的損害またはその他の付随的もしくは派生的損害を含みますが、これらに限定されません。)について、お客様またはその他の第三者に対していかなる責任も負いません。このことは、IBM、第三者の情報提供者またはそれらの関連会社がかかる損害の可能性について通知を受けていた場合、または予見し得た場合も同様とします。
- h. お客様は、IBM からの 5 日前の通知に応じて、IBM に対して記録および文書を提出し、ならびに、IBM が合理的に必要なとし、かつ IBM が、本「別紙 B」の諸条件をお客様が遵守しているかを判断するのに合理的に必要な範囲において、お客様の施設およびシステムに対する支援ならびにアクセスを IBM に提供するものとします。

## 4.2 Thomson Reuters

IBM の「Thomson Reuters ベンダー・データ契約」に従い、本書に基づいて提供されるコンテンツのうち、Thomson Reuters から供給されるもの(以下「TR データ」といいます。)(「TR データ」を含む「クラウド・サービス」オフリングからのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)へのアクセスおよびその利用には、次の特記事項および条件が適用されます。

- a. The TR Data is copyright © 1999 – 2016, Thomson Reuters. All rights reserved. Thomson Reuters (Markets) LLC, Thomson Reuters Canada Limited、およびその関係会社は本書においては「Thomson Reuters」といいます。
- b. Thomson Reuters またはその第三者プロバイダーは、「TR データ」について、これらに限らないものの、著作権、商標権、特許権、データベース権、営業秘密、ノウハウ、およびその他の知的財産権、または導出の保護形態もしくは同等の効果を持つ形態を含むすべての権利、権原、および利益を所有し、保持するものとし、お客様には、それらに関する、またはそれらに対する所有権は付与されていません。「TR データ」は、Thomson Reuters またはその第三者プロバイダーの機密情報と営業秘密です。「TR データ」の表示、実施、再生、配布、または「TR データ」の二次的著作物の作成は、形式や方法に関係なく、明示的に禁止されています。ただし、本書にて明示的に許可されている場合、さもなければ Thomson Reuters の書面による事前許可を得ている場合は除きます。
- c. IBM は「TR データ」を利便性のために提供するものであり、「TR データ」の品質または可用性について責任を負わないことを、お客様は了承するものとします。お客様は、「TR データ」の一般的な形式、内容、機能、パフォーマンス、および制限を了承しており、「TR データ」がその目的に適合していることを承認していることを認めるものとします。

- d. お客様は、「TR データ」(「TR データ」を含む「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットを含みますが、これに限定されません。)、お客様の社内業務で利用するために、またはお客様の従業員、役員、取締役、請負業者、代理人およびアドバイザー(弁護士、コンサルタントおよび会計士を含みますが、これらに限定されません。)、もしくはお客様の顧客との相談で利用するために、使用することができます。上記の「TR データ」の配布を除き、お客様は、「TR データ」または「TR データ」の一部(「TR データ」を含む「クラウド・サービス」からのアウトプットを含みますが、これに限定されません。)をさらに再配布してはなりません。ただし、書面で IBM が明示的に許可している場合は除きます。本「サービス記述書」の終了または満了時に、本書に基づき「TR データ」に付与されるすべての権利は即時終了するものとします。お客様は、「クラウド・サービス」オフアリングを使用するお客様により生成されたすべての報告書、プレゼンテーション、発表およびその他の資料のコピーを保持することが認められるものとしますが、かかる報告書、プレゼンテーションもしくは発表、または本「サービス記述書」の期間中に作成されるその他が、「サービス記述書」に準じたお客様の使用にのみ制限されるものとするを条件とします。
- e. お客様は、「TR データ」の特定要素へのアクセスが停止する場合があること、または Thomson Reuters により、もしくはかかる要素の第三者プロバイダーの指示を受けて、特定の条件の適用を受ける場合があることを了承します。「TR データ」に <http://www.thomsonreuters.com/3ptyterms> で規定される「一般制限/通知」ページで参照される第三者データを含む場合に限り、かかる「一般制限/通知」ページで規定される条件がお客様に適用されるものとします。お客様が第三者の条件のうち適用される可能性のあるものについて疑問がある場合には、IBM サポート担当員にお問い合わせください。
- f. いずれの暦年においても、「TR データ」の条件に基づく、あるいは、関連する損失、損害、または費用に対する IBM の責任の総額は(過失、契約違反、不実表示、またはその他理由に関わらず)、当該暦年につき「TR データ」のためにお客様に代わって支払われた料金の総額を超えないものとします。
- g. IBM、IBM の関連会社、Thomson Reuters、その第三者プロバイダーはいずれも、「TR データ」が中断なく、誤りなしで、適宜に、完全に、正確に提供されることを保証せず、当該物の使用から得られる結果について保証するものではありません。「TR データ」もしくはお客様による「クラウド・サービス」オフアリングからのアウトプットにアクセスするお客様、その関連会社または第三者の、「TR データ」の使用およびそれに対する信頼は、お客様ご自身の責任でなされるものとします。IBM、IBM の関連会社、Thomson Reuters、その第三者プロバイダーはいずれも、いかなる場合であれ、お客様またはその他の組織もしくはその他の者が「TR データ」を使用できないことについても、また、原因に関係なく、「TR データ」の使用において、もしくは「TR データ」の使用に起因する、不正確性、誤り、遺漏、遅延、コンピューター・ウィルスもしくはその他の欠陥や破損、損害、請求、債務もしくは損失に対して、責任を負いません。「TR データ」は「現状」にてお客様に提供され、いかなる保証も提供されません。適用法の許す限りにおいて、いかなる商品性の保証、特定目的適合性の保証、権原保証、権利不侵害保証を含むいかなる保証も、明示的もしくは暗示的に、本書に基づき提供されるものではありません。
- h. Thomson Reuter またはその第三者プロバイダー、あるいはその担当者への「TR データ」に関連する、直接的または間接的損害、特殊または偶発的損害、または結果として起こる損害、損失または費用についての予見の有無を問わず、いかなる場合も、Thomson Reuters またはその第三者プロバイダーは、それらの損害、損失、または費用について責任を負いません。これには、直接的または間接的損害、特殊または偶発的損害、または結果として起こる、損害、損失または費用などが含まれますが、これらに限られません。さらに、Thomson Reuters またはその第三者プロバイダーは、いかなる方法でも、「クラウド・サービス」オフアリングに対して責任を負わないものとします。

### 4.3 BondEdge

IBM の「BondEdge Solutions LLC ベンダー・データ契約」に従い、本書に基づいて提供されるコンテンツのうち、BondEdge から供給されるもの(以下「**BondEdge データ**」といいます。)(「BondEdge データ」を含む「クラウド・サービス」からのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)へのアクセスおよびその利用には、次の特記事項および条件が適用されます。

- a. お客様は、「BondEdge ベンダー・データ」(「BondEdge ベンダー・データ」を含むか「BondEdge ベンダー・データ」から派生した「クラウド・サービス」からのアウトプットを含みますが、これらに限定されません。)を、「クラウド・サービス」のみに関連する社内使用として取り扱うものとしします。
- b. お客様は、BondEdge およびその第三者サプライヤーが、「BondEdge ベンダー・データ」のすべての権利を留保することを了承します。
- c. お客様は、BondEdge Solutions LLC およびそのサプライヤーが、明示と黙示を問わず、商品性、適合性およびその他あらゆる事柄について一切保証せず、サービスに含まれた錯誤、遺漏および不具合について責任を負わないことを了承します。
- d. お客様は、「BondEdge ベンダー・データ」は、機関投資家、登録仲介業者、専門家、および同様の知識と経験を持つ者による使用を想定していることを了解します。
- e. お客様は、「BondEdge ベンダー・データ」のユーザーは、「サービス」の選択、「サービス」の用途の選択または意図する用途、およびそこから得られた結果について、自ら自主的に判断を下さなければならないことを了承します。「本契約」のいずれの規定も、適用される証券取引法に基づいて存続する権利を放棄するものではありません。
- f. BondEdge およびその第三者サプライヤーは、「本契約」の第三受益者です。

## 別紙 C

本書は、「IBM サービス記述書」の「別紙 C」です。「本契約」、「サービス記述書」、「取引文書」および本「別紙 C」の間に相違が生じた場合は、その限りにおいて、本「別紙 C」の条件が優先するものとします。

### 1. 禁止事項

以下の用途での使用は、Microsoft もしくは Red Hat またはその両方に禁止されています。

高リスク使用の禁止: お客様は、「クラウド・サービス」オフリングの障害が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害を招く可能性のあるアプリケーションまたは状況 (以下「高リスク使用」といいます。) で、「クラウド・サービス」オフリングを利用しないものとします。「高リスク使用」には、航空機、またはその他の人の大量輸送手段、核施設、化学施設、生命維持装置、体内埋込型医療機器、自動車、または兵器システムが含まれますが、これらに限定されるものではありません。「高リスク使用」には、その不具合が生命の危険、重大な人身傷害もしくは重大な物的損害または環境被害につながるものない構成データ、エンジニアリングもしくは構成ツール、またはその他非制御アプリケーションを保管するための管理を目的とした「クラウド・サービス」の利用は含まれません。これらの非制御アプリケーションは、制御を実行するアプリケーションと通信することはできませんが、制御機能には直接または間接に関与しないものとします。

### 2. CUSIP および CGS ISIN

コンテンツに CUSIP 識別コードが含まれる場合、CUSIP データベースおよびそれに含まれる情報は、現在も今後も、Standard & Poor's CUSIP Global Services (以下「CGS」といいます。) および American Bankers Association (以下「ABA」といいます。) が所有または使用の許諾を受けた重要な知的財産であって、当該資料またはそれらに含まれる情報に関する専有権は、一切お客様に譲渡されないこと、お客様は同意し、これを認めるものとします。取引の清算および決済以外でお客様が使用する場合には、CGS からの使用許諾が必要となりますが、これには使用量に基づく料金が伴います。かかる資料の不正流用または不正使用は、CGS および ABA に対して深刻な損害を与えること、かかる場合には、金銭による損害賠償が CGS および ABA に対する十分な補償とはならない場合があることにお客様は同意するものとします。したがって、不正流用または不正使用があった場合には、CGS および ABA は、CGS および ABA が権利を有する法的または金銭的なその他の救済に加え、差止めにより救済を得る権利を有することに、お客様は同意するものとします。

通常の証券取引の清算および決済に関連する場合を除いて、お客様は、いかなる人物または事業体に対しても、CUSIP データベースもしくはそれに含まれる情報、またはそれらの要約もしくは一部を、いかなる媒体においても公表または配布してはならないことに同意するものとします。さらに、CUSIP のコードおよび銘柄の使用は、自らのために、またはかかるサービスを受ける第三者の受領者のために、CUSIP の銘柄またはコードのマスター・ファイルまたはデータベースを作成するか保持することは意図されておらず、それらの作成または保持の目的を支援するものでもないこと、ならびに、CUSIP のマスター・テープ、印刷物、データベース、インターネット、電子的、CD-ROM によるサービス、および/または CGS により開発される将来のサービスの代替物を作成することは意図されておらず、いかなる方法においてもその代替物とならないこと、お客様は同意するものとします。

CGS、ABA、またはそれらの関連会社のいずれも、CUSIP データベースに含まれる情報の正確性、妥当性、または完全性について、明示もしくは黙示を問わず、何らの保証も行いません。かかる資料は、「現状」のままお客様に提供され、商品性の保証、特定目的適合性もしくは使用に対する保証、当該資料の使用から得られた結果に関する保証は適用されません。CGS、ABA、またはそれらの関連会社のいずれも、誤りまたは遺漏についていかなる責任も負わず、その予見の有無を問わず、直接損害、間接損害、特別損害、その他の拡大損害のいずれであるかを問わず、いかなる損害についても責任を負いません。契約、不法行為またはその他を問わず、何らかの訴訟の原因による CGS、ABA、またはそれらの関連会社の責任は、いかなる場合においてもその訴訟の原因が発生したとされる月に当該資料の入手のた

めにお客様が支払った料金相当額を、超えないものとします。さらに、CGS および ABA は、CGS および ABA の支配を超えた事情による遅延または不履行について、責任を負わないものとします。

お客様は、前記の諸条件は、上記の資料に対するお客様のアクセス権が終了した後も存続することに同意するものとします。著作権は米国銀行協会に帰属します。CUSIP データベースは、McGraw-Hill Companies Inc. の子会社、Standard & Poor's CUSIP Global Services によって提供されるものであり、許可なく複製することを禁じます。

本条の確認事項は、お客様と CGS との間で直接締結される書面による契約に明示的に従うものであり、その契約を修正またはそれに優先するものとは解釈されないものとします。